

令和6年度市民まちづくり提案事業【協働事業部門】 事業実績

事業者	団体名	鳥取ガス株式会社	代表	代表取締役社長 児嶋 太一
事業内容	助成事業名	鳥取市クールシェルターへのウォーターサーバー支援と熱中症予防をテーマにした料理教室開催		
	事業目的	近年、酷暑が続いており、気温の上昇が予測されている。熱中症は予防できるにもかかわらず、搬送者数が増加しているなど、より一層の対策が必要であり、特にコロナ禍以前の活況を取り戻した砂丘などの市内観光地での対策が求められるところであり、関係各機関・事業者との連携が必要であると考えている。 また、熱中症で救急搬送対応となっているのは、多くが高齢者であり高齢者への予防対策・注意喚起についても、様々な主体から働きかけを行っていく必要がある。		
	事業の内容	<p>【事業の経過】</p> 5月10日 ウォーターサーバー設置施設の選定 5月17日 エネプラにて開催するイベント参加者への熱中症予防の案内 6月28日～ 順次ウォーターサーバー設置(16か所) 11月8日 ウォーターサーバー引上げ <p>【事業内容】</p> ・クールシェルターへのウォーターサーバー支援 6/28～11/8の期間、市内16施設において、ウォーターサーバーを設置。地区公民館では、ロビー・事務室へ設置、又そのほかの商業施設については、休憩スペースへ設置した。 当初、設置を8月いっぱい予定だったが、今夏は例年以上に暑く、期間延長することとなった。 ・熱中症予防をテーマにした料理教室などの開催 7月19日 子育て世代(ベビー親子)料理教室 8月 1日 小学生対象工作イベント 8月 2日 中高生対象料理教室 上記の内容で熱中症対策イベントを開催した。		
	協働による効果	市管轄の施設について、ウォーターサーバーの良さを理解していただけた。当初一施設で何本の消費があるか推定できず、又、商業施設での消費が伸びず苦戦した。		
	課題に対する効果	このたび初めての試みだったが、公民館等の市民が日常集まる施設にはやはり、冷暖房及び給水施設は必需品ではないかと感じた。日中・夜間と使用される体育館は特に、水の設置はかなり喜ばれ、次年度も期待される声も聞かれたところである。		
費用	総事業費	746, 115円	助成金額	741, 000円
事業の様子				